



みどり

第6号 令和3年9月13日

～交わそうあいさつ 伸ばそう力 笑顔でつながる みどりの子～

下野市立緑小学校 高橋 美恵子



本県、正答率「平均レベル」(下野新聞)



前回の学校だよりでは、「とちぎっ子学習状況調査」の結果についてお知らせしました。今回は、文科省が実施した「全国学力・学習状況調査結果」の概要についてお知らせいたします。下野市の概要については、市教育研究所ホームページ(けやきネット)に掲載されますので、ご覧ください。これらの結果を踏まえ、学校では児童の実態に合った学力向上の対策を更に推進していきます。

全国学習状況調査の結果(緑小の概要)

5月27日(木)に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」(国・算)の結果について、本校と全国平均正答率等をお知らせいたします。

個人結果については、担任より9月6日(月)に配付してあります。ご家庭でもお子さんと一緒に学習について話し合ったり、これからのめあてを考えたりする参考にいただければと思います。

※実施教科：国語、算数

- ☆ 大きく上回っている (15ポイント以上)
- ◎ 大きく上回っている (10ポイント以上)
- 上回っている (5ポイント以上 10ポイント未満)
- 同程度 (±1ポイント未満)

(1) 全体と領域別の比較<全国平均正答率との比較>

	国語
全体	◎
知識・技能	◎
思考・判断・表現	☆
話すこと・聞くこと	○
書くこと	☆
読むこと	☆

	算数
全体	☆
知識・技能	☆
思考・判断・表現	☆
数と計算	☆
図形	☆
測定	☆
変化と関係	◎
データの活用	☆

【傾向】国語・算数ともに、全国平均を大きく上回る良好な結果が得られた。5年生時の「とちぎっ子学習状況調査」では国語「知識・技能」が県平均より10ポイント以上上回り、「話すこと・聞くこと」は県平均と同程度であった。今回の調査でも、「話すこと・聞くこと」については全国平均より上回っているが、国語全体の中では、低めである。

※国語において、全国・県・本校ともに正答率の低かった項目

【知識・技能】

- ①言葉の特徴や使い方に関する事項(短答式の問題)
 - ・漢字を文の中で正しく使う。→「つみ重ね」のつみを漢字で書く。
- ②言葉の特徴や使い方に関する事項(選択式の問題)
 - ・文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。→「すぐに」が詳しくしている言葉として適切なものを選ぶ。



【思考・判断・表現】

- ①読むこと(記述式の問題)
 - ・目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つける。→[資料]を読みメストラルは何をヒントにどのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く。
 - ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。→[資料]を読み面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。

※算数において、全国・県・本校ともに正答率の低かった項目

【知識・技能】

- ①変化と関係(選択式の問題)
 - ・速さを求める除法の式と商の意味を理解している。→速さを求める式の意味について正しいものを選ぶ。

【思考・判断・表現】

- ①数と計算(記述式の問題)
 - ・小数を用いた倍について、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述。→30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く。

これらの問題を解く力を定着させるために、日常の学習指導の工夫改善に努めていきたい。また、既習事項をしっかりと復習してから発展的な課題に取り組むように指導していきたい。

(2) 児童質問紙の回答から・・・「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」の4択
 【「はい」の割合が、全国・県と比較してよい傾向がみられる内容】

質 問 項 目	緑小%	全国%
朝食を毎日食べている	93.5	85.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	51.6	38.3
毎日、同じくらいの時刻に起きている	71.0	55.0
携帯電話やコンピューターの使い方について家の人と約束したことを守っている	54.8	38.0
自分には、よいところがある	58.1	38.2
自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている	58.1	35.9
人が困っているときは、進んで助けている	71.0	43.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	93.5	84.1
人の役に立つ人間になりたい	83.9	75.4
学校に行くのは楽しい	67.7	47.9
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる	41.9	26.7
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	32.3	17.8
学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりしている	48.4	33.0
学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	48.4	30.3
道徳の授業では自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	54.8	45.8
学習した内容について分かった点やよく分からなかった点を見直し次の学習につなげている	45.2	32.8
国語の授業の内容はよく分かる	64.5	39.5
国語の授業では言葉の特徴や使い方について知識を習得したり使ったりしている	54.8	38.3
国語の授業では目的に応じて自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしている	48.4	26.3
国語の授業では目的に応じて文章を読み感想や考えをもったり広げたりしている	64.5	33.8
算数の授業の内容は分かる	71.0	51.6
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	54.8	39.3
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	74.2	49.4
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている	80.6	54.0
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いている	74.2	66.0
英語の授業では英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができている	48.4	39.2
これまで学校の授業以外で英語を使う機会があった	45.2	29.5
新型コロナ感染拡大で学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じた	35.5	29.8
新型コロナ感染拡大で学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けられた	45.2	29.8
新型コロナ感染拡大で学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた	51.8	31.8

【考察】

- ①たくさんよい傾向がありました。緑小の6年生は、学習も学校生活も前向きに取り組んでいることが数字に表れています。今後も一人一人に目を向けながら支援し、よさを伸ばしていけるよう努めていきます。
- ②「将来の夢や目標をもっている（54.8%）」「友達と協力するのは楽しい（61.3%）」については、全国平均より若干、「はい」と回答した児童が少なかったです。キャリア教育を進め、将来の目標について考える機会や協力する楽しさを深める機会を設けたいと思います。
- ③学校の授業以外での普段（月～金）1日あたりの勉強時間（塾も含む）は、2時間以上が32.2%、1時間～2時間48.4%、1時間未満19.4%でした。30分より少ないや全くしないという児童は、なしでした。
- ④学校の授業以外での普段（月～金）1日あたりの読書時間（教科書・参考書・漫画・雑誌は除く）は、1時間以上が9.7%、30分～1時間41.9%、10分～30分未満35.4%、10分未満が13%でした。長文を読み通し、内容を理解する力を高めるためにも読書活動を奨励していきます。

夏休み中、先生方も研修に努めました。

先生方は、県や市・校内での研修会や会議、備品や各教室の整理、諸帳簿の整理等に取り組みました。

＜8月2日、二中学区小中一貫教育研修会＞

第3回南河内第二中学区小中一貫教育研修会を実施しました。今回も部会リーダーの学校に集まり、5つの部会それぞれの取組の共通理解と、これからの取組についての話し合いをしました。緑小には学級づくりチームと心身健康チームのメンバーが集まり、熱心な意見交換が行われました。



＜緑小独自の研修＞

校内研修会では、全教員で「理科模擬授業研修」「特別支援教育研修」「とちぎっ子学習状況調査分析・対策研修」「学力向上推進研修」「研究授業の指導案検討」「食物アレルギー・嘔吐処理研修」等に取り組みました。研修で学んだことを9月から、子供たちへの指導に生かしていきます。

＜お知らせとお願い＞

- ・9月1日～10日の特設日課では、体調が悪くなってお迎えや放課後の過ごし方等、感染症予防にご協力いただきましてありがとうございました。特設日課は9月30日までの予定です。引き続きよろしくお願いいたします。
- ・キッチンペーパーや配膳用手袋等の寄付をありがとうございました。PTA本部の呼びかけに多くの保護者の皆様が協力してくださいました。子供たちのために、大切に使用させていただきます。